

信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための短期学生海外派遣プログラム  
実施状況および成果

プログラム名	グローバルインターンシップ・プログラム	
学部・研究科名	グローバル化推進センター	
プログラム実施期間	派遣期間は派遣先により異なる	
研修先(国・都市・施設名)	<マレーシア> ①東洋エンジニアリング、ミネベアミツミ、山九、KDDI、日野自動車のいずれかの機関、②マレーシアブトラ大学 <ベトナム> ①FPT大学 ②FPT大学提携機関 <タイ> KOMATSU FOODS PRODUCTS AND DISTRIBUTIONS CO.,LTD <アメリカ> カリフォルニア州立大学チコ校 <ドイツ> Fraunhofer FIT 研究所、Steinstosser社、KOS-teaのいずれかの機関 <フランス> リール大学、INRIAリール <スペイン> カタルーニャ工科大学	
	参加学生数 36名	知の森からの支援者数 10名
プログラム概要	本プログラムは、昨年度までに知の森基金で支援いただいている短期派遣プログラムや中長期の交換留学の橋渡しのプログラムとして位置づけ2019年度新規に企画したものである。プログラムを3つのグループ、①低年次(協定校での研修と、協定校と関連の深い企業・機関等での実習)②中年次(日本企業の海外拠点等での実習)③高年次(学生の研究分野に近い研究機関・企業等での実習)、に分け、海外の実務現場での課題に取り組むインターンシップを全学年・専攻を対象に、学生のレベルやニーズに応じて提供するものである。研修先国の連携関係にある協定校/機関の協力の協力を得て、周辺地域または学内/機関内の実務現場において、外国語(主に英語)を使って学生それぞれの専門知識を活かし高め得る実践的課題に取り組むことを通じて、組織のコア人材として主体的・国際的に協働していく能力、将来グローバル社会で貢献できる知識やスキルの基盤形成を図る。	

実施状況・成果

・現地で実習体験を受身な姿勢で臨むのではなく、体験を通して得てくるものを事前に具体化させたうえで派遣した。a. インターンシップや学習中のグループワークを通じた交流、b. 滞在する学生寮等での共同生活、c. 現地大学の学生コミュニティ等が企画・運営するアクティビティへの参加なども盛り込んだ。結果として、留学後のアンケートでは「留学プログラムの達成度」を10段階で評価してもらったところ平均8点であり、約90%の学生が7以上の評価をした。ベトナム研修においては、20人中17人が目標を「達成できた」、又は「ほぼ達成できた」と回答し、他のインターンシップの目標達成度においては、1人が外国語に用いる大学講義での理解度が低かった事を理由に50%としたが、それ以外の学生の平均は約80%であり、研修全体として満足度の高く、教育効果の高いものであったと評価した。

・JASSOの留学後アンケートでは「仲間に働きかけ、問題点を一緒に改善するために行動することができる」という設問に対し、留学前と比べ「そう思わない」「少しそう思う」と答える学生が減り、「かなりそう思う」と答えた学生が22.2%増え、有効回答27名が「そう思う」又は「かなりそう思う」としていることから、海外インターンシップを通し協働の重要性を感じただけでなくコミュニケーション力がつけられたといえる。

・課題や目標に対して取り組む行動を主体的に考える力があると思うかどうかのアンケートに対し、出発前には有効回答の55.6%が「かなりそう思う」、「強くそう思う」と答えていたが、帰国後には81.9%と25.9%アップした事からも有意義な取組であったと評価した。

・カタルーニャ工科大学に派遣した学生から、サグラダファミリアの設計責任者を訪問、歴史的建造物の修復現場を実際に見学し、大変衝撃を受け価値観が大きく変わったという報告があったように、学生の視野が大きく広がり、将来グローバルコア人材として行動していくための基礎となる能力、グローバル社会で貢献できる知識やスキルを形成する事に寄与出来たと思われる。32人中23人がまた留学をしたいと考えており、本プログラムの位置づけどおり、一定の成果があったと判断される。今後本プログラムに参加した学生が、他の信大生へのグローバル化への先導役としてまた、信州大学のグローバル化の原動力となり活動することを期待したい。

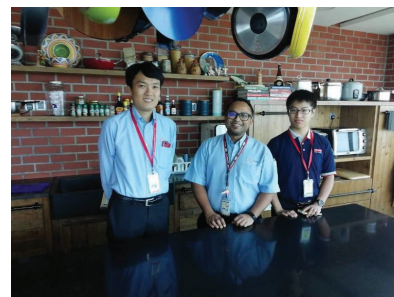
学生の声①-工学部 学生

【ベトナム研修 基礎コース 参加学生】この研修で私は実践的な英会話と異文化との触れあいから自分の価値観が広く深くなったように感じた。他国の学生から伝えられた文化やベトナムで生活してみても体感したものは、予想以上に私の常識から外れたものであった。この一か月間でそのことを何度も経験し、結果的に私の視野は広くなると同時にこれまでの常識や日本文化を客観的にみられたことで、その良さを再発見することができた。これは私にとって代えがたい経験になったと感じている。

学生の声②-繊維学部 学生

【マレーシア研修 参加学生】海外の文化を学んだりコミュニケーションを取る事で、自分の考え方がより広がった。コミュニケーションを取るという意味ではもともと色々な人とコミュニケーションを取ることが出来たと思う。でもそれが次への意欲に繋がっているの自分にとって意味のあることだった。

《マレーシア研修》日野自動車のスタッフと



《ベトナム研修》修了式にて

